

令和5年度

# 事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

学校法人明德学園

## 目 次

### I 法人の概要について

1. 建学の理念・教育目標について	2
2. 法人の沿革について	2
3. 設置する学校・学部・学科等について	3
4. 設置する学校・学部・学科等の学生生徒数の状況について	3
5. 教職員について	3
6. 理事・監事・評議員について	4
7. 学園の組織図	5

### II 事業の概要について

1. 明德学園（学園本部）	6
2. 京都経済短期大学	14
3. 京都明德高等学校	24
4. 京都成章高等学校	31

### III 財務の概要について

1. 主な計算書類	36
2. 当該年度の決算の概要について	41
3. 主な施設設備の整備状況について	41
4. 財産目録	42
5. 主な財務比率について	43

## I 法人の概要について

### 1. 建学の理念・教育目標について

この法人は、日蓮聖人生誕700年記念事業として本圀寺（ほんこくじ）により設立されたもので、日蓮聖人の教えを遵奉し、教育基本法及び学校教育法に従い、宗教的情操の涵養に努め、明知を以て明德を実践する国民の資質を向上せしむる教育をおこなうことを建学の精神としている。

### 2. 法人の沿革について

明德学園は大正10年に設置された明德女学校から出発した。学園歴は、100年を超え、学園傘下には京都明德高等学校、昭和61年開校の京都成章高等学校、及び平成5年4月に高度情報化社会の要請に応じて開学した京都経済短期大学の三校を擁して今日に至っている。

私学を取巻く社会的環境は非常に厳しいものがあるが、今一度学園の建学の精神および教育理念の意義を確認し、「明德学園は働く人づくり日本一の教育機関」をめざすことが社会的使命（責任）であるとし、経営ビジョンの柱として「生き生き働く魅力ある教職員づくり」、教学ビジョンの柱として「将来の生き方につながる職業観の育成」を掲げ、この両輪とともにそのミッションの実現に向かって鋭意努力しているところである。

この間、学園三校の卒業生総数は5万人を超え、全国各地のあらゆる分野において活躍している。母体であった明德商業高等学校は平成9年4月に「京都明德高等学校」と校名を変更して普通科を併設し、平成12年4月に男女共学とした。

さらに、男子校として開校した京都成章高等学校も平成15年4月に男女共学とし、教育の多様化に取り組み、平成26年4月には全日制課程に加えて、現役での大学進学を目指す通信制課程を併設した。

そして、令和4年に創立30周年を迎えた京都経済短期大学は、開学以来高い就職率を維持するとともに、課外講座をはじめとする四年制大学への編入対策のサポートを強化し実績をあげるなど、地域に根ざしながらもグローバル社会の中で時代に即応した人材の育成に努めている。

学園傘下の大学・高等学校とも、それぞれの教育目標に沿って順調に教育活動を営んでいる。

年号・年・月	法人の沿革（概要）
明治44年8月	社団法人明德学園創立
大正10年4月	明德女学校創立
大正13年4月	明德高等女学校設立認可
昭和23年4月	明德女子高等学校設置
昭和26年3月	学校法人明德学園へ組織変更
昭和27年4月	明德女子商業高等学校と改称
昭和29年4月	明德商業高等学校と改称
昭和61年4月	京都成章高等学校設置
平成4年4月	明德商業高等学校全面移転

平成 5 年 4 月	京都経済短期大学経営情報学科設置
平成 9 年 4 月	明德商業高等学校に普通科を併設し、京都明德高等学校と改称（収容定員 1,800 名→1,440 名）
平成 12 年 4 月	京都明德高等学校の男女共学化
平成 14 年 4 月	京都成章高等学校の学則変更（収容定員 810 名→1,200 名）
平成 15 年 4 月	京都成章高等学校の男女共学化
平成 26 年 4 月	京都成章高等学校に通信制課程普通科を併設
平成 30 年 4 月	京都経済短期大学の学則変更（収容定員 300 名→400 名）

3. 設置する学校・学部・学科等について

- (1) 京都経済短期大学 経営情報学科
- (2) 京都明德高等学校 全日制課程（普通科）（商業科）
- (3) 京都成章高等学校 全日制課程（普通科） 通信制課程（普通科）

4. 設置する学校・学部・学科等の学生生徒数の状況について

令和 5 年 5 月 1 日現在（人）

学校名	学科等	入学定員	収容定員	入学者数	在籍者数
京都経済短期大学	経営情報学科	200	400	252	516
京都明德高等学校	全日制	480	1,440	375	980
	（商業科）	(240)	(720)	(207)	(441)
	（普通科）	(240)	(720)	(168)	(539)
京都成章高等学校	全日制	400	1,200	532	1,159
	通信制	—	300	1	28

5. 教職員について

令和 5 年 5 月 1 日現在（人）

学校名	教職員数	内 訳			
		教員		職員	
		本務	兼務	本務	兼務
学園本部 ※部門割人数（ ）を含まず	2 (13)	—	—	2 (13)	0
京都経済短期大学 ※部門割人数（ ）を含む	70 (3)	14	34	20 (3)	2
京都明德高等学校 ※部門割人数（ ）を含む	89 (5)	52	23	10 (5)	4
京都成章高等学校 ※部門割人数（ ）を含む	87 (5)	71	2	13 (5)	1
合 計	248	137	59	45	7

6. 理事・監事・評議員について

令和6年3月31日現在

◇理事（定数13名・現数12名）

理 事 長	川 口 博	
副 理 事 長	中 村 鈴 子	小 島 理 沙
常 務 理 事	浜 岸 和 洋	
理 事	高 橋 弘	二 宮 庸 介
	湯 浅 泰 正	相 根 英 樹
	上 田 健 太 郎	平 木 真 人
	小 林 哲 也	中 井 正 雄

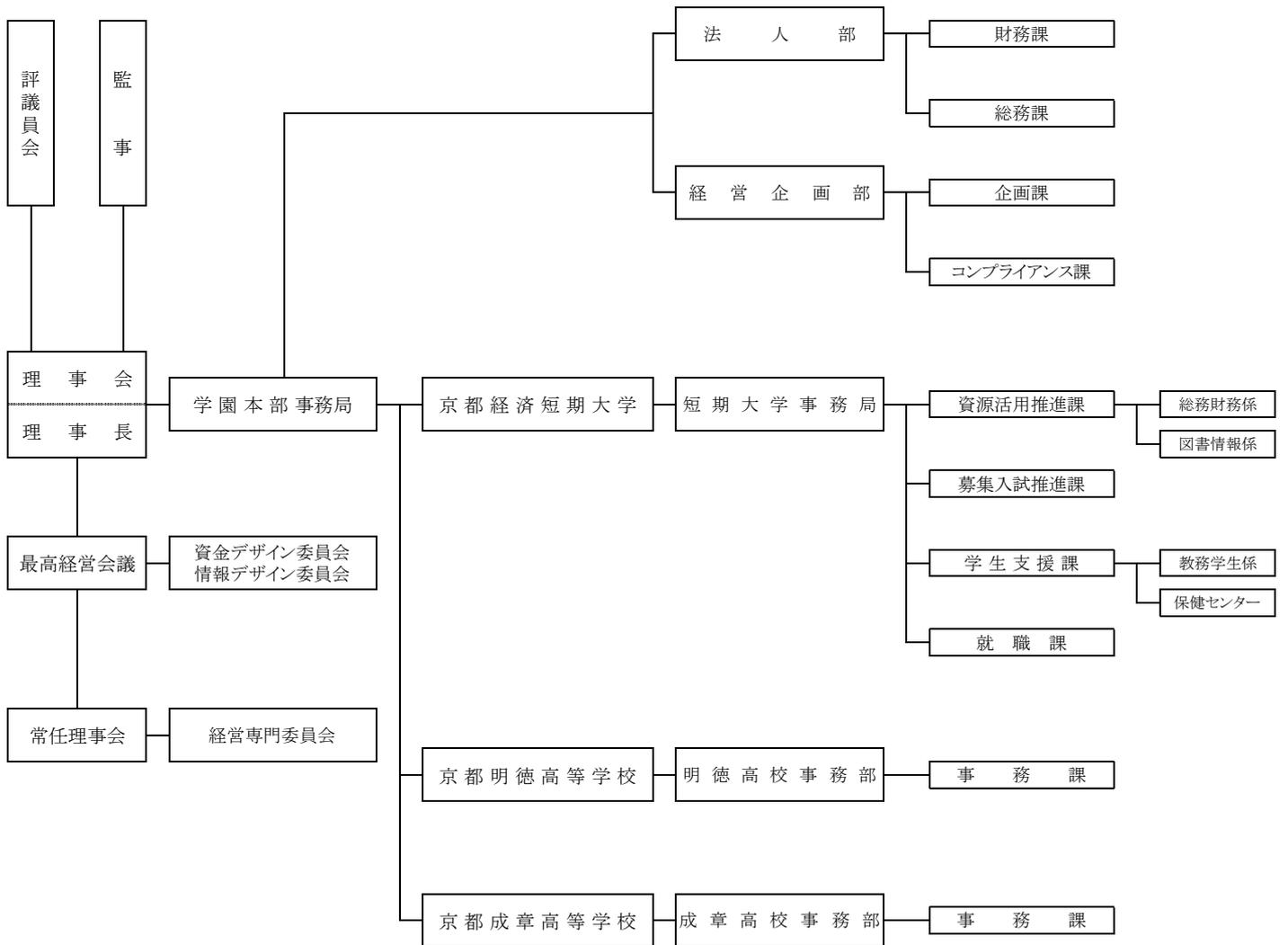
◇監 事（定数3名・現数3名）

常 勤 監 事	上 野 克 也	
監 事	川 勝 康 行	植 田 観 樹

◇評議員（定数29名・現数28名）

川 口 博	中 村 鈴 子	浜 岸 和 洋
高 橋 弘	二 宮 庸 介	湯 浅 泰 正
相 根 英 樹	上 田 健 太 郎	平 木 真 人
小 林 哲 也	中 井 正 雄	林 憲 司
堀 本 宏 美	田 中 辰 幸	村 山 宥 斗
阿 部 晃 彰	竹 永 知 子	佐 藤 健 司
河 本 理 栄	渡 邊 正 弘	澤 井 芳 信
三 村 貴 代 美	川 口 智 康	大 西 秀 樹
今 枝 徳 蔵	早 川 日 章	近 藤 永 太 郎
風 間 隨 修		

## 7. 学園の組織図



## II 事業の概要について

### 1. 明德学園（学園本部）

#### (1) 当該年度の事業の概要について

めざすもの： 「働く人づくり日本一の教育機関」  
ミッション： 「傍（はた）を楽（らく）にする人づくり」  
経営ビジョン： 「生き生き働く魅力ある教職員づくり」  
教学ビジョン： 「将来の生き方につながる職業観の育成」

今年度、本学園では、これまで同様、長期計画としての「明德学園、これからの10年（19）」を策定し、学園のミッション・ビジョンを全教職員に明示し、教学面・経営面ともに改革を実践しながら経営を進めてきた。

#### ①明德学園事業計画（概要）

##### ◇明德学園の経営

- ・「人を活かす」人的資本経営の構築
- ・「ひとイノベーション」発生装置をデザインする
- ・スクールガバナンスを構築
- ・教学と経営の融合を図る「経営専門委員会」の設置

《令和5年度 経営専門委員会》

人事制度・新しい人づくり委員会

- ・学園本部による各種支援体制の整備

##### ◇明德学園の「人づくり」

- ・利他の心を活かす
- ・インテグリティ（統合性）とダイバーシティ（多様性）の実現のために
- ・競争から共創へ
- ・教職員の成長が学校法人や学校の価値向上に結びつくことをめざす
- ・教育を取り巻く環境変化への対応と職務貢献に応じた賃金制度

##### ◇「教育づくり」の支援

- ・教育力向上の取り組みを推進
- ・四部門横断的「学園として」の教職員研修会の充実を図る
- ・「面白いを創る」、感動体験を生み出す文化・スポーツ活動の推進
- ・あらゆる場を通じて「宗教する心」の涵養に努める

##### ◇情報をデザインする

- ・見えない資産をわかりやすく伝える
- ・学生・生徒確保につながる企画広報活動
- ・学校法人のディスクロージャー制度の実施
- ・アカウントビリティ（ステークホルダーへの説明責任）

《情報デザイン委員会の基本姿勢》

新聞広告・広報物の制作と共にHPの新鮮さを重視する

◇資金をデザインする

- ・お金の命を吹き込む
- ・効率的財政支出とプライマリーバランス
- ・奨学金や教育振興金の充実
- ・スクールファイナンスの構築

《資金デザイン委員会の基本姿勢》

デザイン思考・ファイナンス思考を活かした安定感ある資金運用

◇監査機能の充実とコンプライアンス

- ・教職員としての職務能力を高めるとともに、公金管理の徹底を図る  
業務監査の令和5年度重点事項 監事監査計画による。  
会計監査の令和5年度重点事項 監事監査計画による。
- ・コンプライアンス体制の確立のために
- ・仕事のあらゆる場面を通じて人権感覚を高めるための工夫を図る

◇ファシリティマネジメントの構築

- ・戦略的施設の取得と管理
- ・現有施設・設備の有効活用とその姿勢

《令和5年度 重点整備》

100年法人にふさわしい施設設備の取得をおこなう。

◇明德学園のこれからをデザインする

- ・ミッション・ビジョン実現のため、「明德学園、これからの10年(19)」により、中・長期的な方向性(指針)を示す。

②主な事業内容

私学経営には戦略が不可欠である。学園本部には、事務局としての役割だけに留まらずに、経営戦略機能を有する「経営事務局」としての役割を強化していくことが求められている。その目的を達成するために、本部内に法人部と独立性の高い経営企画部を配置しており、本年度は以下のような事業を展開した。

◇理事会の開催

学校法人の価値向上のために、学校からの視点、学園からの視点に加えて、大局的・戦略的なものの見方・考え方をもって、以下の議案について審議し意思決定を行った。

〈主な議案〉

- ・明德学園グランドデザイン長期計画「明德学園、これからの10年(19)」
- ・令和5年度明德学園監事監査計画
- ・令和5年度明德学園人事委員会委員の選任
- ・令和5年度個人情報保護委員会委員の選任
- ・令和4年度及び令和5年度ハラスメント防止委員会委員の欠員の選任
- ・令和4年度事業報告
- ・令和4年度収支決算
- ・令和5年度補正予算

- ・令和6年度予算編成方針
- ・令和6年度明德学園管理職人事
- ・令和6年度事業計画
- ・令和5年度最終補正予算
- ・令和6年度当初予算
- ・明德学園創立記念奨学生、島正博奨学生、川口博奨学生、京都経済短期大学教育後援会創立記念奨学生、京都経済短期大学経営・情報学会奨学生の決定
- ・明德学園教育振興金及びみらい授業研究費の申請
- ・松本学昭教育奨励金
- ・基本金の組み入れ
- ・学則変更
- ・諸規程、規則等の整備
- ・京都経済短期大学自己点検・評価報告書
- ・教職員の採用
- ・100周年記念施設物件の検討

#### ◇評議員会の開催

学校法人の価値向上のために、学校からの視点、学園からの視点、第三者からの視点に加えて、大局的・戦略的なものの見方・考え方をもって、以下の議案について審議した。

##### 〈主な議案〉

- ・令和4年度事業報告
- ・令和4年度収支決算
- ・令和5年度補正予算
- ・令和5年度最終補正予算
- ・令和6年度事業計画
- ・令和6年度当初予算
- ・評議員等の人事構成について

#### ◇教学と経営の融合

業務執行機関のスタッフ組織として、理事・教員・職員により構成されている経営専門委員会について、令和5年度は「人事制度・新しい人づくり委員会」が設置された。その答申の概要は以下の通りである。

##### I はじめに

##### II 現行の人事制度の検証

##### III 新しい人づくり

「学生生徒にとって必要な質の高い教職員」に求められる能力とマインド、  
これらを育む環境づくり

##### IV 方策

1. 「明德学園イノベーションアワード」(仮称) … 学園内コンペ
2. キャリアパス (キャリア形成)
3. 多様な働き方への対応
4. 職位職階給の見直し「主幹教諭、指導教諭の人数枠増」
5. 採用制度の見直し「教職員採用における年齢制限の撤廃」

V おわりに

◇研修会の実施

ア) 学園研修・懇親会

本学園は、学園のミッション・ビジョンの実現を目指し、学園創立記念日に、全部門の教職員が一堂に会した横断的な研修会として、明德学園発祥の地(柿本町)にある京都東急ホテルにて毎年、「明德学園研修・懇親会」を開催している。今年度で18回目の開催であったが、経営専門委員会中間報告や部門報告など、以下のようなプログラムで実施した。

日 時 : 令和5年10月23日(月)

場 所 : 京都東急ホテル「葵の間」

テーマ : 「一体感」

次 第 :

<b>第1部 研修会</b>		司会: 二宮庸介・中谷俊雄/高阪勇毅・山上孝治
13:00~	基調報告「明德学園はひとつ」	理事長 川口博
13:30~	経営専門委員会 中間報告「人事制度・新しい人づくり委員会」	委員長 相根英樹
13:50~	休憩 (コーヒー、明德コラボデザート)	
14:05~	部門報告 学園本部 「情報デザイン委員会の取り組み3つの学校をひとつに」	榊誠也・水谷天音
14:25~	部門報告 京都経済短期大学 「全学的な就職支援連携について」	梅田裕介・栗山拓・永田裕美・秋田真由子
14:45~	部門報告 京都明德高等学校 『常勝・常翔・常笑・常昇』~女子硬式野球部の一体感~	森川大器
15:05~	部門報告 京都成章高等学校「京都成章高校の取り組みとその成果について」	西村裕也・服部圭太郎
15:25~	休憩	
<b>第2部 表彰式</b>		司会: 平木真人
15:35~	永年勤続表彰状贈呈式・松本学昭教育奨励金贈呈式	
16:15~	休憩 (表彰者記念撮影、会場構成変更)	
<b>第3部 懇親会</b>		司会: 上田健太郎・桑原広幸
16:55~	懇親会 料理紹介	京都東急ホテル総料理長 能登谷憲司 氏
18:25~	講評	常務理事 浜岸和洋

## イ) 職員研修会

本学園では、職員としての資質の向上を目指し、知識を得るだけでなく、教養を深めるために一流に触れる機会や、職員相互の信頼関係を構築するため、交流する機会を設けてきた。

今年度はコロナ禍も終息を迎えたため、「大自然に触れ、感性を磨き、職員間のつながりを深める」をテーマに職員36名で滋賀県守山市の佐川美術館、近江八幡市の水郷巡りとラ コリーナ近江八幡を訪ねました。佐川美術館は、建物そのものが水庭にたたずむ、周辺の自然との調和を感じられ、「ガウディとサグラダ・ファミリア展」では、ガウディの創造の源泉を探り、総合芸術としてのサグラダ・ファミリア聖堂のすばらしさを五感で感じることができました。織田信長も楽しんだとされる水郷巡りでは古くから愛されたその自然に触れ、職員同士が交流を深めることができる貴重な時間となった。

## ◇情報をデザインする

### ・学園広報誌「学園四季」の発刊

学園ミッション・ビジョンを体現している教育・研究実践など、学園の見えない資産を広報している。連載企画として経済短大のゼミ活動を紹介する「ハタ・ラク研究室」や、両高校のクラブ活動を紹介する「クラブ探訪記」のほか、特集記事として、学園独自の給付型奨学金、学園の財務状況、学園研修懇親会、卒業生インタビューなども掲載した。

### ・創立記念新聞広告の掲出

創立記念日の10月23日に、京都新聞と朝日新聞（京滋版）の朝刊に、全15段カラーの新聞広告を掲載した。3校の各教員からの教育に捧げる熱いメッセージを並べることで「教育力」と「一体感」、そしてこの異質な組み合わせから生まれる「ひとイノベーション」を表現し、メインテーマである「ひとイノベーションの明德学園」をアピールした。

### ・学園 Web サイトの更新

事業報告や各種学園オリジナルの奨学金情報等を随時更新した。

### ・学内広報誌「学内ニュース」の発行

学内教職員を対象に、タイムリーな告知、情報共有等を目的に発行した。

## ◇情報の公開

アカウントビリティ（ステークホルダーへの説明責任）を目的とし、信頼される重要な情報として財務情報・事業報告を積極的に公開した。今後も個人情報をはじめとした保護すべき情報には十分配慮しつつも、必要な情報公開に努める。

## ◇情報管理と活用

各学校で情報発信ツールとして活用している Web サイトについて、本部情報担当者が内容の充実と運用の利便性向上を支援した。

また、京都経済短期大学のシステム運用委員会にも随時出席し、学園のシステム環

境全般の整備に寄与したほか、ネットワークの利用状況を定期監視し、通信の停止や過大通信、その他セキュリティに関わる異常通信の兆候があればその対応支援を行った。

#### ◇資金をデザインする

##### ・スクールファイナンスの構築

「お金に命を吹き込む」ことをめざし、補助金等の外部資金の獲得や戦略的財務資金運用により、収入増加を図り、経営基盤の強化に努めた。

##### ・効率的財政支出に向けての取り組み

予算編成においてプライマリーバランスや財務比率によるマネジメントを重視し、各部門間での共同購入や共同利用等の工夫を心掛け、効率的な財政支出に努めた。

##### ・学園創立記念奨学金の充実

今年度も京都経済短期大学・京都明德高等学校・京都成章高等学校の成績優秀かつ経済的に学費納付が困難な学生・生徒に対して、返済義務のない給付型奨学金7万円を135名に給付した。さらに経済条件を問わない給付型奨学金12万円も8名に給付し、学園創立記念奨学金の充実に努めた。

##### ・明德学園教育振興金の充実ははかる

学生・生徒に感動体験を生み出す文化・スポーツ活動を推し進める取り組みとして、京都成章高校卓球部、同バドミントン部、同ゴルフ部、同男子ラグビーフットボール部、そして、教育振興を図るための教職員研修の取り組みとして、職員研修委員会にそれぞれ支給し、支援を行った。

##### ・松本学昭教育奨励金の支給

この奨励金は、松本学昭名誉理事長からの寄付を原資とする運用果実を利用し、明德学園の教育づくりに寄与する取り組みを行う個人またはグループを支援するために平成28年度に設けられた。今年度は、全部門から教員2名、職員2名に対し奨励金を支給し、その功績をたたえた。

##### ・みらい授業研究費制度の運用

明德学園のミッション・ビジョンの実現に向けて、本学園の教職員が、学生生徒の未来に役立つ授業を開発・実践することで、ひいては本学園の教育力の向上に寄与すると認められるものに対する助成を行っている。今年度は計2件の研究事業について、2名の教職員に対し研究費を支給した。

##### ・島正博奨学金制度

令和元年度、本学園初代名誉理事長である島正博氏（株式会社島精機製作所会長）の過去の功労に感謝すべく新たな奨学金制度を創設した。今年度は基準を満たす学生・生徒計12名に対し、一人当たり年間20万円を支給した。

##### ・川口博奨学金制度

川口博理事長からの100周年記念寄付金を原資として新たな奨学金制度を創設、今年度より基準を満たす学生生徒計12名に対し、一人当たり年間10万円を支給した。

・京都経済短期大学 経営・情報学会奨学金

京都経済短期大学 経営・情報学会からの創立100周年寄付をもとに令和3(2021)年度創設、成績優秀かつ経済的に学費援助を要する京都経済短期大学の学生6名に対し、一人当たり年間10万円を支給した。

・「お金の命を吹き込む」資金運用

資金運用の要件である安全性、安定性、効率性、計画性、説明責任等を重視しながら、「学校法人明德学園資金の運用に関する取扱規程」に基づいた資金運用を行った。また、ラダー型運用スタイル、対象商品により利回りを工夫する等、ポートフォリオをデザインしながら戦略的資金運用に努めた。さらに、運用管理機能としての「資金デザイン委員会」では、金融商品案件の検討会議を行うほか、研修会にも参加し能力の向上に努めた。

◇法務・コンプライアンス体制の確立に向けた取組み

予防法務機能として、各部署からの法務に関する相談、諸契約に係る条項のチェック、規程等の改定提案、新規制定法令や改正法令の告知等を行った。また、紛争処理・対処機能として、法的問題が生じた際の解決支援や弁護士との連携及び官公庁への対応等を行った。

◇監査の実施

学校法人の価値向上を目的とし、学校としての視点から学園としての視点、各機関から独立した立場をもって、財務及び業務について適正かつ効率的な運営に資するために以下の事項について監査を行った。今後も引き続き本学園のミッション・ビジョンに沿った運営が円滑に遂行できるよう内部統制制度の構築・強化を図るとともに、教職員の公金管理に関する意識の向上及びステークホルダーに対する説明責任を果たしていく。また、学園全部門における業務内容を横断的に把握することで学園財産の保全及び業務の活性化へと繋げていく。

〈令和5年度実施監査〉

内部 監事 監査	第1回	令和4年度京都明德高等学校・京都成章高等学校クラブ活動に係る収支状況及び活動状況・管理体制について 日程：R5.7.7、7.11、7.14、7.18、7.19、7.27、7.28、7.31、8.18
	第2回	令和4年度京都経済短期大学科学研究費補助金の管理状況について 日程：R5.9.28、10.3、10.17
	第3回	令和5年度京都経済短期大学個人研究費（教育研究活動を含む）の執行状況及び管理運営状況について 日程：R5.12.11、12.13、12.18、12.21、12.22、12.25、R6.1.9、1.11、1.12、1.17、1.18、2.14

	第4回	令和4～令和5年度京都経済短期大学・京都明德高等学校・京都成章高等学校各周辺団体に係る収支・管理状況について 日程：R6.2.19、2.20、2.22、2.26、3.5
監査法人監査	令和4年度 期末監査	大手前監査法人による監査（※三様監査も実施） 日程：R5.4.11 R5.5.22、5.23、5.24
	令和5年度 期中監査	大手前監査法人による監査（※三様監査も実施） 日程：R5.11.15、11.16 R6.2.27、2.28、2.29

#### ◇ファシリティマネジメント

明德学園では、「総合的な施設設備活用を進め、その取り組みを通じて学生・生徒や教職員がともに『施設を美しく使う』、『モノを大切に使う』心を育み、また、良いモノを安く提供いただける企業との良好な関係を築くこと」をファシリティマネジメントの柱と位置づけ、推進している。

今年度の代表的なものとして、京都経済短大の管理棟2、3階トイレ改修、大教室他改修、京都明德高校の西館北2、3階のトイレ改修等、京都成章高校の本館空調機改修、コアスイッチリプレース等が行われた。また、100周年記念事業としての新たな不動産に関する情報収集や取得に向けた調査、検討も行った。

#### (2) 中期的な計画の進捗・達成状況

単年度事業の遂行において、常に中期計画と対比させつつ進めている。

#### (3) 今後の課題について

各校がそれぞれの独自性を活かしながら、さらに積極的にミッション・ビジョンの実現に向けた取り組みを進めていこうとしているなか、やはり、喫緊の課題としては学生生徒募集とよりよい学校づくり、教育づくりの担い手である教職員の確保が挙げられる。既成の概念にとらわれることなく様々な工夫を凝らし、学園としてこれらの課題解決に取り組んでいかなければならない。

## 2. 京都経済短期大学

### (1) 当該年度の事業の概要について

- ・自己点検を行い、一般財団法人大学・短期大学基準協会による機関別評価を受け、すべての項目で「適格」と判断された。
- ・スクールバスの運行を開始した。

### (2) 入学志願者数、受験者数、合格者数等の入学試験に関する状況について

志願者数：288名

受験者数：278名

合格者数：267名

入学者数：206名

### (3) 卒業者数、学位授与数等の状況について

208名

### (4) 学生の就職・進学状況について

#### 1) 就職

株式会社イワイ【卸売業/事務職】、株式会社エフティコミュニケーションズ【卸売業/営業職】、株式会社ザグザグ【小売業/販売職】、JA 丹波篠山【複合サービス業/事務職】、株式会社ゲンキー【小売業/営業職】、株式会社万代【小売業/営業職】、ワールドインテック株式会社【サービス業/職種未定】、株式会社ネクステージ【小売業/営業職】、株式会社ブロンコビリー【飲食サービス業/サービス職】、大黒天物産株式会社【小売業/販売職】、株式会社システナ【情報通信業/専門職】、株式会社 Omorey【情報通信業/営業職】、株式会社セレマ【生活関連サービス業/事務職】、HR マネージメント株式会社【サービス業/営業職】、株式会社アクセア【サービス業/営業職】、ELJ ソーラーコーポレーション株式会社【卸売業/営業職】、株式会社エクスティード【生活関連サービス業/サービス職】、株式会社ハヤシ【卸売業/事務職】、株式会社ファーストスクエア【卸売業/営業職】、株式会社 LAVA international【生活関連サービス業/サービス職】、株式会社ベネフィット・ワン【サービス業/事務職】、GTS 協同組合【複合サービス業/事務職】、佐竹食品グループ【小売業/営業職】、明清建設工業株式会社【建設業/技術職】、国際セーフティ株式会社【サービス業/保安職】、明治安田生命相互会社【金融業/営業職】、合同会社忠烈【小売業/営業職】、Evand 株式会社【サービス業/営業職】、株式会社ネクステージ【小売業/技術職】、株式会社 NECT【サービス業/営業職】、株式会社愛媛銀行【金融業/営業職】、社会福祉法人清和園【福祉業/介護職】、株式会社 Nadeshico【飲食サービス業/営業職】、KSS 株式会社【卸売業/営業職】、株式会社 AndDo ホールディングス【不動産業/営業職】、株式会社 YAMAMURA【小売業/営業職】、アーク引越センター【輸送業/営業職】、本家八ッ橋西尾株式会社【製造業/営業職】、株式会社伊予銀行【金融業/営業職】、株式会社 GRiP'S【小売業/販売職】、武田病院グループ【医療業/事務職】、エムケイ株式会社【輸送業/技術職】、

社会福祉法人清和園【福祉業/介護職】、京都農業協同組合【複合サービス業/営業職】、ライクスタッフィング【サービス業/サービス職】、京都農業協同組合【複合サービス業/営業職】、シキボウ株式会社【卸売業/事務職】、湖東信用金庫【金融業/営業職】、HOTEL CLAD・株式会社小田急リゾート【宿泊業/サービス職】、株式会社テレアースジャパン【小売業/販売職】、株式会社プレイス&アビリティ【サービス業/営業職】、株式会社ウッズカンパニー【建設業/営業職】、株式会社エイブル【不動産業/営業職】、株式会社オートー【製造業/事務職】、株式会社ヤマタホーム【不動産業/専門職】、itx コミュニケーションズ【小売業/販売職】、国際セーフティ株式会社【サービス業/保安職】、京都大原記念病院グループ【福祉業/事務職】、株式会社エルアイシー【不動産業/営業職】、株式会社ファーマシィ【小売業/事務職】、セコムジャスティック株式会社【サービス業/保安職】、西日本旅客鉄道株式会社【陸運業/専門職】、株式会社 GRiP' S【小売業/営業職】、京都やましろ農業共同組合【複合サービス業/営業職】、株式会社 Create the Future【情報通信業/専門職】、株式会社全日警【サービス業/保安職】、アイフル株式会社【金融業/営業職】、株式会社ダイサブ【卸売業/事務職】、株式会社ソフィア【情報通信業/技術職】、甲賀農業協同組合【複合サービス業/営業職】、成協信用組合【金融業/営業職】、京都トヨペットグループ【小売業/営業職】、キステム株式会社【情報通信業/技術職】、株式会社平和堂【小売業/販売職】、株式会社ヨコハマ【小売業/販売職】、京セラ株式会社【製造業/事務職】、株式会社ユニテックス【サービス業/営業職】、株式会社アーク引越センター【陸運業/サービス職】、Honda cars 山陰中央【小売業/営業職】、京セラ株式会社【製造業/事務職】、京セラ株式会社【製造業/事務職】、株式会社タケダキカイ【卸売業/事務職】、滋賀中央信用金庫【金融業/営業職】、滋賀近交運輸倉庫株式会社、株式会社平和堂【小売業/営業職】、西日本技研コンサルタント【サービス業/事務職】、株式会社ツツミ【小売業/販売職】、株式会社ゲンキーク【小売業/営業職】、新船橋みみはなのどクリニック【医療業/事務職】、フジ建設株式会社【建設業/事務職】、株式会社モリタ屋【小売業/営業職】、株式会社テレアースグループ【サービス業/サービス職】、株式会社シロキ【卸売業/事務職】、株式会社 Ledy Bird【生活関連サービス業/サービス職】、たねやグループ【小売業/販売職】、ゲンキーク株式会社【小売業/営業職】、社会福祉法人清和園【福祉業/営業職】、京都銀行【金融業/営業職】、中日本フード株式会社【卸売業/事務職】、東レフィルム加工株式会社【製造業/事務職】、アイフル株式会社【金融業/営業職】、株式会社スギ薬局【小売業/営業職】、総合メディカル株式会社【サービス業/事務職】、一般層候補生【公務/保安職】、株式会社ファルコファーマシーズ【小売業/事務職】、株式会社ワールドコンストラクション【サービス業/事務職】、コマツ滋賀株式会社【卸売業/事務職】、明治安田生命相互会社【金融業/営業職】、京都府警【公務/保安職】、京都府警【公務/保安職】、株式会社オーテック【建設業/技術職】、明治安田生命相互会社【金融業/営業職】、株式会社さとう【小売業/営業職】、株式会社北陸近畿クボタ【卸売業/営業職】、医療法人徳洲会【医療業/事務職】、株式会社 I2CWEST【情報通信業/技術職】、武田病院グループ【医療業/事務職】、株式会社中央倉庫ワークス【運輸業/運搬職】、マイスターエンジニアリング【サービス業/

技術職】、株式会社京都東急ホテル【宿泊業/サービス職】、清水長金属工業株式会社【製造業/事務職】、株式会社 Wiz【情報通信業/営業職】、株式会社エービーシー・マート【小売業/営業職】、中部薬品株式会社【小売業/販売職】、株式会社 KEIKAN【建設業/営業職】、明治安田生命保険相互会社【金融業/営業職】、税理士法人 北浜・中西会計【専門サービス業/事務職】、日本梱包運輸倉庫株式会社【運送業/運搬職】、株式会社ゆうホールディングス【小売業/事務職】、ココカラファイングループ【小売業/販売職】、株式会社ゆうホールディングス【小売業/事務職】、パナソニックホームズ不動産株式会社【不動産業/営業職】、サービス&セキュリティ株式会社【情報通信業/技術職】、エア・ウォーター・リンク株式会社【卸売業/営業職】、株式会社吹上技研コンサルタント【専門技術サービス業/事務職】、伊丹産業株式会社【卸売業/事務職】、オメガテクノ株式会社【製造業/営業職】、株式会社アルティム【不動産業/営業職】、医療法人社団白凜会ブランクリニック【医療業/サービス職】、隠岐の島町【公務/事務職】、株式会社アルティム【不動産業/事務営業職】、株式会社ビーネックステクノロジーズ【サービス業/技術職】、自衛官候補生【公務/保安職】、ANA 大阪空港株式会社【運輸業/サービス職】、株式会社サカイ引越センター【運輸、業/営業職】、京都中部広域消防組合【公務/保安職】、滋賀県警察本部【公務/保安職】、有限会社川岸新聞舗【小売業/営業職】、不二熱学サービス株式会社【サービス業/技術職】、日興通信株式会社【情報通信業/営業職】、株式会社ファーストスクエア【小売業/営業職】、株式会社フィナンシャル・エージェンシー【金融業/営業職】、高石機械産業株式会社【物品賃貸業/事務職】、株式会社シー・オー・エム【飲食サービス業/サービス職】、エリッツ建物管理【不動産業/営業職】、医療法人京都翔医会西京都病院【医療業/事務職】、総合キャリアオプション【サービス業/製造職】、株式会社京阿月【製造業/製造職】、株式会社住みかえ情報館【不動産業/営業職】、さとうグループ【小売業/営業職】、ニシムラ株式会社【卸売業/事務職】、ALSOK 京滋株式会社【サービス業/保安職】 他

## 2) 編入学

和歌山大学【経済学部】、関西大学【総合情報学部】、愛媛大学【法文学部】、追手門学院大学【経営学部】、追手門学院大学【経済学部】、桃山学院大学【経済学部】、大阪産業大学【経営学部】、東京経済大学【経営学部】、追手門学院大学【経営学部】、追手門学院大学【経営学部】、桃山学院大学【法学部】、桃山学院大学【経営学部】、龍谷大学【経営学部】、京都文教大学【総合社会学部】、大阪経済大学【経営学部】、大阪経済大学【経営学部】、京都産業大学【経済学部】、京都産業大学【経済学部】、下関市立大学【経済学部】、京都文教大学【総合社会学部】、大阪経済法科大学【経営学部】、京都産業大学【経営学部】、京都産業大学【経営学部】、京都産業大学【経営学部】、大阪学院大学【経営学部】、大阪経済法科大学【経済学部】、神戸国際大学【経済学部】、東京経済大学【経済学部】 他

(5) 今後の課題について

卒業できない学生が例年より多かったため、学習に対するモチベーションをいかに持続させていくか対策を講じる。

(6) その他

1) 教育活動

・通常授業

前期、後期ともに、法令で定められた授業数を実施した。

・特別授業

長期休暇等を利用し簿記等資格取得対策講座や進路対策講座等を実施した。

・定期試験

前期、後期ともに、滞りなく実施した。

・ゼミナール活動

研究・発表・討論等を行なうゼミナールを、校外活動、地域連携、フィールドワーク等、様々な形式で実施した。また12月には、全学生参加によるゼミナール研究発表会を以下の通り実施した。(発表順)

ゼミ名	発表テーマ
高橋ゼミ	近代社会における結婚とは
高阪ゼミ	馬場状況とオッズの関係性
濱口ゼミ	人口減少が経済に与える影響について
今橋ゼミ	アニメツーリズムについて
岡村ゼミ	嗅覚がもたらす様々な影響について
佐藤ゼミ	企業を支える新事業の有効性について－鉄道会社の事例－
小島ゼミ	古着問題について-価値を与えるためには-
伏見ゼミ	インボイス制度 -免税事業者への影響-
森崎ゼミ	おもしろおかしいプロダクトデザインの追求 -お笑いタレントとコラボレーションした面白可笑しいコップのデザインとその評価-
加藤ゼミ	パンのサプライチェーン
植田ゼミ	映像作品 昔話法廷「鶴の恩返し」について
小路ゼミ	血液型性格診断 ～性格から血液型を当てられるか～
プロジェクト 演習	要注意外来生物といかにつきあうか -きくいもプロジェクト-

・京都明德高等学校との連携事業

本学専任教員がオムニバス形式の講義を行い、本学での学びの全体像を高校生に理解させながら、生徒たちが自ら興味・関心領域の発見を見出すことに主眼を置いて実施した。また、短大の正規科目である秘書実務検定対策講義や販売士検定対策講義も開放し多数の高校生が受講した。

## 2) 行事等

04月01日(土)	オリエンテーション(オンデマンド) ~4/2
04月03日(月)	入学式
04月04日(火)	オリエンテーション、避難訓練
04月05日(水)	ふるさと会
04月10日(月)	留学生集会
04月12日(木)	特待生集会
04月15日(土)	健康診断
05月10日(水)	スポーツ大会①
05月14日(日)	オープンキャンパス
05月17日(水)	スポーツ大会②
06月02日(金)	WEB入試説明会
06月18日(日)	ミニ・オープンキャンパス
07月07日(金)	WEB入試説明会
07月23日(日)	オープンキャンパス
07月31日(月)	前期定期試験 ~8/3
08月19日(土)	オープンキャンパス
08月24日(木)	ハラスメント研修会
09月06日(水)	経営情報学会研究報告会
09月09日(土)	入試説明会
10月05日(木)	短大基準協会による訪問調査 ~10/6
10月13日(金)	WEB入試説明会
10月20日(金)	明德学園奨学金授与式
10月23日(月)	明德学園研修・懇親会
10月29日(日)	秋華祭
12月02日(土)	保護者・保証人対象進路説明会
12月14日(木)	ゼミナール研究発表会
01月29日(木)	後期定期試験 ~2/1
03月06日(水)	経営情報学会研究報告会
03月14日(木)	卒業証書・学位記授与式
03月24日(日)	オープンキャンパス
03月29日(金)	辞令交付式

## 3) 学生指導・支援活動

- ・コース・ユニット制の円滑な運用を進めた。
- ・学生の実態把握に努め、問題点の見直し・改善を図った。
- ・進路指導について、教員・職員で、対面指導により生活指導面も含めてきめ細かに対応した。編入学対策としては、編入対策科目等において指導を行った。加えて、編入予備校との連携により対策講座も実施した。
- ・学生相談室でのカウンセラー面談の一層の充実を図った。

#### 4) 研究活動

- ・教員の授業力向上に寄与させるべく前期・後期に講義アンケートを実施した。
- ・研究紀要『京都経済短期大学論集』を発行することで研究発表の場を確保した。
- ・経営・情報学会を通じて研究会を開催し、専任教員および特任講師による研究報告会を年2回実施した。

氏名	テーマ
今橋 裕	日本製造業における B to B 率及び研究開発多角化と収益性の関連性分析
植田憲司	メディアテクノロジー環境におけるメディア表現に関する研究
岡村靖人	社会心理学
加藤 康	サプライチェーンにおける倉庫の機能
高阪勇毅	編入学試験対策としてのマクロ経済学指導法
小島理沙	環境経済学
佐藤健司	人間関係マネジメントおよび人的資源管理の分析とディーセント・ワークの研究を踏まえた安心・安全な働き方の研究
小路真木子	画像分析ツールの開発
高橋 弘	大学生の英語教育と4技能を統括した実践英語力の向上
伏見康子	簿記会計教育に関する研究
森崎巧一	情報デザイン、感性工学

#### [学術論文]

氏名	論文等の名称
今橋 裕	①我が国の企業における研究開発投資と設備投資と収益性についての一考察【『京都経済短期大学論集』第31巻第2号】 ②地方創生の現地視察 ～健康経営企業及び地方の取組み事例～【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】 ③米国企業の研究開発・設備投資と収益性の実証分析【第70回 日本経営システム学会全国研究発表大会（東海大学）】 ④製造企業における研究開発投資及び設備投資と収益の関連性【第71回 日本経営システム学会全国研究発表大会（東北大学）】
植田憲司	①「空想美術館」とデジタルアーカイブーハル・フォスターの議論を中心にー【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
岡村靖人	①The effects of money priming on risk-taking behavior【Romanian Journal of Psychological Studies】 ②短期大学生の学校適応と職場不安, ソーシャルスキルとの関連【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】

加藤 康	<p>①倉庫とタイミングコントローラー【『同志社商学』第75巻第6号】</p> <p>②書評：李端雪編『業界別物流管理とSCMの実践』ミネルヴァ書房、2022年5月【『イノベーション・マネジメント』21巻、法政大学イノベーション・マネジメント研究センター】</p> <p>③サプライチェーンの動向【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】</p>
高阪勇毅	<p>① Association between the COVID-19 Vaccine and Preventive Behaviors: Panel Data Analysis from Japan【Vaccines, Vol. 11, No. 4810】</p> <p>② Gender Differences of the Effect of Vaccination on Perceptions of COVID-19 and Mental Health in Japan【Vaccines, Vol. 11, No. 4822.】</p> <p>③京都のゆるキャラの印象評価とその分析【『京都経済短期大学論集』第31巻2号】</p> <p>④株式市場の効率性の計測【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】</p>
小島理沙	<p>①新たな素材投入に伴う市場の変化 ～PETボトルの登場に伴う缶容器の変遷とこれから～ 【日本包装学会32(2)117-125】</p> <p>②資源としての容器包装回収の始まり 日本とオランダのボランタリーアプローチの比較分析 【日本包装学会32(3)167-173】</p> <p>③高齢化と廃棄物管理に関するこれまでの研究【月刊廃棄物2023年10月号】</p> <p>④世代間分別行動の差【月刊廃棄物2023年11月号】</p> <p>⑤古着回収のケーススタディ【月刊廃棄物2023年12月号】</p> <p>⑥排出源分別の持続可能性について 高度な資源循環の達成に向けて【環境経済政策学会2023】</p> <p>⑦日本の容器包装の特性とごみ【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】</p>
佐藤健司	<p>①人間関係マネジメント研究の意義【京都経済短期大学第31巻第1号】</p> <p>②人間関係ウェルビーイング —ソーシャルサポートの視点から—【京都経済短期大学第31巻第2号】</p> <p>③心理的安全性の2面性【『京都経済短期大学』第31巻第1号】</p> <p>④人間関係ウェルビーイング —ソーシャルサポートの視点から—【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】</p>

小路真木子	①画像解析を用いた印象評価分析ツールの開発【京都経済短期大学論集』第31巻第1号】 ②印象分析のための色相分析およびフーリエ解析ツール【京都経済短期大学論集』第31巻第2号】 ③類似画像判定ツール【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
高橋 弘	①心に響く伝える力の養成（日本語と英語）【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
伏見康子	①会計カリキュラムの改訂と簿記検定対策の取り組み【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
森崎巧一	①画像解析を用いた印象評価分析ツールの開発【京都経済短期大学論集 第31巻第1号】 ②京都のゆるキャラの印象評価とその分析【京都経済短期大学論集 第31巻第2号】 ③印象分析のための色相分析およびフーリエ解析ツール【京都経済短期大学論集 第31巻第2号】 ④鑑賞支援機器の歴史的変遷とその考察【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】

[外部研究資金獲得] (競争的資金獲得)

氏名	研究テーマ (代表研究者名)	研究項目 (文科省科研費等)
植田憲司	芸術と社会—近代における創造活動の諸相 (代表 高階絵里加)	京都大学人文科学研究所 共同利用・共同研究拠点 共同研究プロジェクト
加藤 康	タイミングコントローラーと競争優位：規模の経済とJIT生産の両立に関する研究 (中道一心)	文科省科研費基盤研究 (C)
高阪勇毅	①現先間裁定関係による市場効率性の計測 (研究代表者：高阪勇毅) ②軍事リスク問題の経済学的解明：日本とイスラエルの比較分析 (研究代表者：筒井義郎)	文科省科研費基盤研究 (C) 国際共同研究加速基金 (海外連携研究)
森崎巧一	印象評価と画像解析を用いたデザイン画像の独創性分析とその可視化システムの開発	文科省科研費基盤研究 (C)

[公的委員会]

氏名	内容
今橋 裕	①大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻 招へい教員 (2019年5月～継続中) ②令和5年度(第23回)京都府高等学校生徒商業研究発表大会 審査委員
植田憲司	①第19回京都現代写真作家展実行委員(京都府) ②京都府 職員ふれあいフェスタ2023(写真の部) 審査員(京都府)
小島理沙	①伊丹市 廃棄物減量等推進審議会 会長 ②豊中市 豊中市廃棄物減量等推進審議会 委員 ③豊中市 環境審議会 委員 ④京都市 廃棄物処理施設設置等検討会議 委員 ⑤神戸市 環境保全審議会 委員 ⑥堺市 廃棄物減量等推進審議会 委員 ⑦大阪市 廃棄物減量等推進審議会 委員 ⑧姫路市 環境審議会 委員 ⑨大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 委員 ⑩日本包装学会 編集委員会 委員

[学術団体の理事]

氏名	団体名等
植田憲司	日本記号学会 理事
佐藤健司	労務理論学会 理事

[講演会]

氏名	活動・講演の概要
植田憲司	①シンポジウム「京都∞写真 ―過去・現在・未来をつなぐもの―」登壇者(2023年12月17日、京都府京都文化博物館フィルムシアター) ②フォーラム「動植物標本のデジタル化の意義と京都の文化と生物多様性(仮題)」(2024年3月17日、京都府立京都学・歴史館 大ホール) 講演者
高阪勇毅	①福山大学経済学研究会(2023年10月13日) 登壇者 論題:「株式市場の効率性と流動性の計測」
小島理沙	①JICA Knowledge Co-Creation Program 講師 ②高槻市 ごみの減量・資源化講習会 講師 ③マルチメディア推進フォーラム 循環経済の現状・展望とICT活用の最前線 講演

伏見康子	大阪高等学校「進学前教育（特別講座）」のプログラムにおいて、「簿記会計入門」の講師として講演
------	--

5) 管理・運営等

学長のリーダーシップのもと13回の定例教授会を開催した。さらにその調整機能を果たす執行部会も、各委員会や事務組織との連携を図りながら開催した。これにより、教育・研究活動が円滑に進んだ。

[各委員会組織名]

教授会、執行部会、人事委員会、教学委員会、募集入試委員会、就職委員会、図書・学会委員会、第三者評価委員会、システム運用委員会、留学生委員会（教学委員会に包括）、ハラスメント防止委員会、洛西・地域研究センター

6) 施設設備等の整備

- ・講義棟までの屋根付き渡り廊下の設置を行った。
- ・管理棟2階、3階のトイレの更新を行った。
- ・体育館の照明をLED化した。

### 3. 京都明德高等学校

#### (1) 当該年度の事業概要について／今後の課題

2020年3月2日の全国一斉休校からはじまったコロナ禍は、今年度5月8日に、コロナウイルス感染症の位置付けが「2類相当」から「5類」へと移行された。これにより、ようやく、通常の学校教育活動が展開することができた。ソーシャルディスタンスによる隔離は、オンライン授業など、新たな教育効果を生み出した。しかし、人との関わりが遮断されることで、HRを中心とした集団づくりは、創意工夫はしたものの、満足の行く形にはならなかった。学校教育の根幹は、人づくりである。ダイバーシティに富んだ現代において、必要な人間力は、集団の中で培われるものである。集団を形成することを主としている全日制高等学校の存在意義はそこにある。常識であるHRという形が崩壊した約3年間により、これからの通常学校教育活動に対して、一層の教育哲学を強く持つ必要があると強く感じた1年であった。

今年度の進路状況としては、昨年につき、素晴らしい成果を上げることができた。大学進学については、特進クラスから大阪大学をはじめ、国公立大学7名を輩出した。関関同立39名、産近佛龍185名と昨年と遜色のない数字であった。卒業生全体としても、4年制大学への割合が55%となり、商業科を有する学校としては、進路に特色がみられるようになった。新コース「みらい社会SL(スポーツマネジメント)」も企業・大学との教育連携は順調に進めることができ、今後の展開の広がり期待が持てる。

部活動においては、ダンス部がコロナ禍で中止しなっていた国際大会において、優勝を勝ち取った。創部2年目のバドミントン部も、主要な府下大会においては、すべて優勝し、インターハイ、国体、全国選抜と全国大会へと出場している。

学習指導要領の改訂により、向こう10年の求められる教育が示され、「思考力・判断力・表現力」と「知識・技能」を互恵的に働かせることで、使える知識を身につけ、学んだことを社会や人生に生かそうとする「学びに向かう力」の育成が求められる。実際、各校で、アクティブラーニング、探求型授業など、新たな教育(授業)が実践されているが、どれも形式的な「教育づくり」のような気がしてならない。感染症・気候変動・ウクライナ危機・人口減少など、さまざまな予測不能な事態が起きており、これまでの常識の通用しない答えのない世界に本格的に突入している。これまでの常識を疑い、情報過多の中、物事の本質を見抜き、右脳を働かせる感性を磨き、物事を創造的に解決していいける人材が必要なのである。そのためには、教育の担い手である、われわれ教員こそが、コンセプチュアルな思考、創造的に解決するデザイン思考を持ち得ることが必要なのである。右脳と左脳を行き来させ、論理性だけでなく、直観・感性に迫るハード面、ソフト面の充実を図るとともに、「人づくり」を軸に「教育づくり」「学校づくり」を展開し、ブルーオーシャン戦略のもと、京都市内唯一の商業科と普通科併設の学校として、特色を全面に押し出した教育活動を進めていく。

#### 【整備】

- ◆スクールバス西バス(神川・久世)
- ◆トイレリニューアル

## 【キャリア教育】

- ◆ 1・2年：次世代型キャリア教育（総合的な探求）
- ◆ 1・2年：企業人による講演
- ◆ 進路ガイダンス
  - 1年：職業理解ガイダンス、進路部長ガイダンス
  - 2年：学問分野別説明会
  - 3年：進路部長ガイダンス、大学入試説明会
- ◆ 教育連携プログラム
  - 2・3年：京都経済短期大学「商業科&高短連携授業」
- ◆ 京都明德キャリアウィーク
  - インターンシップ→職業体験
  - スカラシップ→大学授業体験
- ◆ 就職プログラム
  - 進路相談、会社見学、マナー講座、履歴書・面接・内定者指導、入社前セミナー

## 【行事】

- 4 / 5 (水) 新入生登校日
- 10 (月) 入学式・新入生保護者会
- 11 (火) 始業式・新入生歓迎会
- 13 (木) 通常授業開始
- 17 (月) 交通安全教室
- 25 (火) 人権カウンセリング研修会
- 26 (水) 2年保護者会
- 27 (木) 花まつり
- 5 / 2 (火) 避難訓練
- 8 (月)・9 (火) 3年進路ガイダンス
- 12 (金) 遠足
- 16 (火) 3年保護者対象進路説明会
- 18 (木) 健康診断
- 25 (木) 育友会クラブ後援会総会
- 31 (水) 1年球技大会
- 6 / 1 (木) 球技大会（2年）、教育実習生受け入れ期間開始
- 2 (金) 球技大会（3年）
- 3 (土) 第70回全国高等学校ビジネス計算競技大会京都府大会
- 10 (土) 私学フェア
- 11 (日) 私学フェア
- 17 (土) 第1回オープンキャンパス
- 18 (日) 珠算・電卓検定
- 21 (水) 生徒大会
- 25 (日) 全商 簿記実務検定

- 28 (木) 生徒会役員改選
- 7 / 1 (金) 期末考査終了 ※7/21 まで通常授業
- 4 (火) 中学対象説明会
- 5 (水) 塾対象説明会
- 7 (金) 芸術鑑賞会
- 13 (木) 1学期末考査終了 ※7/10 より、3年進路ガイダンス
- 21 (金) 終業式
- 28 (金) 保護者面談期間終了 7/25 より
- 29 (土) 第2回オープンキャンパス
- 8 / 2 (木) 夏のクラブ体験 ※強化指定クラブ
- 18 (木) 就職相談・受験企業校内選考
- 21 (月) 合同面接指導 (就職企業決定生徒対象)
- 24 (木) 始業式
- 27 (水) 第3回オープンキャンパス
- 9 / 2 (土) 3 (日) 私立中高展 (みやこめっせ)
- 8 (金) キャンパスツアー
- 10 (日) 全商 英語検定
- 16 (土) オープンキャンパス
- 24 (日) 全商 情報処理検定
- 29 (金)・30 (土) 学園祭
- 10 / 5 (水) キャンパスツアー
- 13 (金) 体育祭
- 14 (土) 第4回オープンキャンパス
- 18 (水)・19 (木) キャリアウィーク
- 20 (金) 創立記念奨学金授与式
- 23 (月) 創立記念日、明德学園研修懇親会
- 25 (水) お会式
- 31 (火) キャンパスツアー
- 11 / 7 (火) 育友会 秋の社会見学
- 8 (水) キャンパスツアー
- 8 (火) 夜の学校見学会
- 11 (土) 第5回オープンキャンパス
- 16 (木) 2年保護者対象進路説明会
- 24 (金) キャンパスツアー
- 30 (木) 成道会
- 12 / 3 (日) 私立中高入試相談会 (京都ガーデンパレス)
- 7 (木) 令和6年度1年 PL 文理クラス候補生保護者説明会
- 9 (土) 第6回オープンキャンパス
- 8 (金) ~ 14 (木) 期末考査
- 15 (金) 人権学習

- 1 6 (土) 個別入試相談会
- 2 1 (木) 終業式
- 2 2 (金) ~ 冬期進学講座
- 1 / 1 0 (水) 始業式
- 1 3 (金) 修学旅行 結団式
- 1 3 (土)・1 4 (日) 大学入学共通テスト
- 1 8 (木) 涅槃会 (仏青)
- 1 5 (月) ~ 2 4 (水) 入試願書受付期間
- 2 1 (日) 全商情報処理検定
- 2 9 (月) ~ 2 (金) 修学旅行 ※A団 : 29~1 B団 : 30~2
- 2 4 (水) ~ 2 6 (金) 3年学年末考査
- 2 8 (日) 全商簿記実務検定
- 2 / 9 (金) 全日 入試準備 ※生徒自宅学習日
- 1 0 (土) 令和6年度入学試験 A日程
- 1 2 (月) 令和6年度入学試験 B日程
- 1 7 (土) 1. 5次入試
- 2 9 (木) 卒業式 登壇生徒指導
- 1 9 (日) 吹奏楽部定期演奏会 於 : 長岡京記念文化会館
- 3 / 4 (月) 卒業証書授与式、感謝の夕べ
- 5 (火) ~ 7 (木) 学年末考査
- 1 8 (月) 修了式

## 【部活動】

### ◆ダンス部

- ・Miss Dance Drill Team International USA 2023 ダンスドリル国際大会)  
Large Open HIPHOP 優勝 & 審査員特別賞 (世界 313 チーム中)
- ・全国高等学校ダンスドリル選手権大会  
HIPHOP 部門男女混成 Large 編成 優勝 (国際大会出場権獲得)  
団体総合 準優勝 ※朝日新聞社賞、特別賞、アンコール演技披露
- ・ICU WORLD CUP 2023 JUNIOR HIPHOP (韓国国際大会) 優勝
- ・第13回全国高等学校ダンスドリル冬季大会 Winter Cup2023  
Hiphop 部門男女 Large 編成 優勝 団体総合 優勝 ※朝日新聞社賞  
Hiphop 部門男子 優勝 団体総合 3位
- ・USA Regionals2024 関西大会  
高校編成オープン部門 優勝 ※全国大会出場権獲得

### ◆バドミントン部

- ・令和5年度 全国高等学校総合体育大会 京都府予選  
[学校対抗] 優勝 (全国大会出場)  
[シングルス] 優勝 高木 杏奈 (全国大会出場)  
準優勝 坪井 陽菜 (全国大会出場)  
第3位 中島 萌、岡本 芽

- [ダブルス] 準優勝 坪井 陽菜・中島 萌 (全国大会出場)  
第3位 小山 心愛・岡本 芽
- ・第42回全日本ジュニアバドミントン選手権大会 京都府予選  
[ダブルス] 優勝 坪井 陽菜・中島 萌 ※全日本ジュニア選手権出場  
準優勝 原 風花・高木 杏奈
- [シングルス] 準優勝 岡本 芽  
第3位 柳 杏優
- ・第78回国民体育大会バドミントン競技 京都府予選会  
[ダブルス] 優勝 坪井 陽菜・中島 萌  
第3位 岡本 芽・小山 心愛  
[シングルス] 優勝 高木 杏奈  
準優勝 坪井 陽奈  
第3位 中島 萌  
※京都府代表国体選手 高木 杏奈、坪井 陽奈、中島 萌
- ・第70回近畿高等学校バドミントン選手権大会 京都府予選  
[ダブルス] 優勝 岡本 芽・小山 心愛  
準優勝 坪井 陽奈・中島 萌  
[シングルス] 優勝 坪井 陽奈  
準優勝 高木 杏奈  
第3位 中島 萌、岡本 芽
- ・第28回全国私立高等学校選抜バドミントン大会  
[学校対抗] 全国 9位
- ・2023 THE MALL THAILAND BADMINTON CHAMPIONSHIP  
[ダブルス] ベスト8 坪井 陽奈・中島 萌  
[シングルス] 準優勝 高木 杏奈
- ・令和5年度 京都府下新人大会 学校対抗 優勝 ※近畿大会出場
- ・令和5年度 第52回全国高等学校選抜バドミントン大会近畿地区予選  
[学校対抗] 第3位  
[シングルス] 坪井 陽菜 第3位  
[ダブルス] 坪井 陽菜 中島 萌 第3位  
※団体・シングルス・ダブルス において、全国大会出場権獲得

◆ソフトボール部

- ・令和5年度 春季大会 市内女子 第3位
- ・令和5年度 全国高等学校総合体育大会 京都府予選 ベスト8
- ・令和5年度 秋季大会 市内女子 第3位
- ・令和5年度 京都府下新人大会 第3位

◆女子硬式野球部

- ・第27回 全国高等学校女子硬式野球選手権大会 出場
- ・第14回 全国高等学校女子硬式野球ユース大会 出場

◆女子バスケットボール部

- ・令和5年度 全国高等学校総合体育大会 府予選 ベスト16
- ・令和5年度 全国高等学校バスケットボール選手権大会 府予選 ベスト16
- ・令和5年度 京都府高等学校新人大会 ベスト8

◆男子バスケットボール部

- ・令和5年度 全国高等学校総合体育大会 府予選 ベスト16
- ・令和5年度 全国高等学校バスケットボール選手権大会 府予選 ベスト16
- ・令和5年度 京都府高等学校新人大会 ベスト16

◆剣道部

- ・令和5年度 全国高等学校総合体育大会 京都府予選 第3位(近畿大会出場)
- ・第75回京都府私立中学高等学校総合体育大会 団体 優勝
- ・令和5年度 京都府高等学校剣道新人大会 第3位

◆珠算部

- 第70回全国高等学校ビジネス計算競技大会 京都府予選会
- [個人電卓] 優勝 3年 松岡 拓哉(全国大会出場)  
矢野 篤樹(全国大会出場)
- [個人珠算] 安森 由衣、水見 明日香(全国大会出場)
- 第70回全国高等学校ビジネス計算競技大会
- [個人電卓] 第11位(佳良賞) 3年 松岡 拓哉

◆パソコン部

- ・第35回全国高等学校情報処理競技大会 京都府予選会  
[個人] 松岡 拓哉、大八木 英徳(全国大会出場)

◆吹奏楽部

- ・第40回京都府高等学校総合文化祭 マーチングバンドの部 金賞
- ・同 京都府大会 金賞
- ・第22回マーチングステージ全国大会 銀賞

◆個人 石田 音杏(2-6)

- ・テコンドー東アジアユース競技大会代表選考会  
女子ジュニア 55kg級 **優勝(日本代表決定)**
- ・アジアジュニアテコンドー選手権大会 2023East Asian Youth Game  
女子 55kg級 第3位
- ・第22回全国高等学校ビジネスアイデア甲子園  
審査員特別賞 水原 明日香(2年)・川口 優那(1年)

(2)「令和6年度入学試験」に関する状況

	1次	1.5次
志願者数	981	7
受験者数	968	7
合格者数	942	4

(3) 令和5年度卒業生状況

卒業生数： 311名（商業科 122名 / 普通科 189名）

[表彰]

日本私立中学高等学校連合会長表彰	1名
京都府私立中学高等学校連合会表彰	1名
全国商業高等学校協会卒業生成績優秀者表彰	1名
産業教育振興中央会会長賞	1名
京都府産業教育振興会会長賞	1名
京都府卒業生成績優秀者表彰	1名
全国商業高等学校主催検定3種目以上1級合格者表彰	16名
7種目 1名 5種目 1名 4種目 5名 3種目 9名	

(4) 進路状況

○4年制大学 合格者数384

国公立 7・関関同立 39・産近甲龍佛 185 その他 151

○進路数

4年制大学	171	55% (53%)
京都経済短大	29	9% (16%)
短大	14	5% (4%)
就職	17	6% (4%)
専門	72	23% (21%)
その他	8	2%

※就職は、19年連続、内定率100%達成。

#### 4. 京都成章高等学校

##### (1) 当該年度の事業の概要について

教職員間のコミュニケーションを今まで以上に増やしていくことによって、ホームルーム活動や教科教育が大きく改善され、進学指導等を含めた教育効果および生徒の成長において、例年以上の成果を残すことが出来た。具体的な例を挙げると、クラスミーティングを繰り返し、各コース・クラスの目指す方向性を担任・教科担当が共有し、且つ明確にして連携をとっていくことによってより効果的な教育提供を実践できた。放課後の進学講習に関しては、クラスの枠組みをとっばらい、習熟度や内容によって生徒が選択できる講座を展開し、参加率が前年度よりも大きく改善された。また、放課後質問対応教員を配置し、生徒の放課後の自習環境を整備した。HR 指導、進路指導、教科指導などに関して、様々な研修会を開いたり、実践報告レポートを書いてもらったりすることにより、教員それぞれがもつ方法論を共有し、生徒に還元した結果、3年AS理系クラス(31名クラス)で国公立大学合格30、3年AS文系クラス(16名クラス)で国公立大学合格10(うち大阪大学3神戸大学1)と、例年よりはるかに高い割合で国公立大学に合格させることを達成した。

生徒が積極的に参加することができる仕組みも構築され、教員主流の現状から生徒主流の流れに大きく改革できたことで、受け身ではなく能動的に物事を考え行動できる生徒が確実に増えてきている。

#### 1) 教育

##### ① 授業

###### 全日制課程

令和5年度も学則に定められた授業日数を確保し、すべての教科において定められた学習内容を終了できた。

###### 通信制課程

令和5年度も例年通りの年間18日のスクーリングを実施し、また定められたレポート添削指導を完了した。

##### ② 学校行事

令和5年度は、新型コロナウイルスへの対応が緩和されていく中、一年を通して、ほぼ従来通りの学校行事の実施を果たした。

4月11日	第38回 入学式
14日	校外活動
27日	3年生「主権者教育」
5月11日	遠足
6月8、9日	文化祭
9月12、15、21日	芸術鑑賞
10月12日	体育祭
11月 8日	球技大会(7日が雨天のため順延)
1月30日～	メディカルスポーツクラス スキー研修旅行出発 志賀高原スキー場

2月19日～ 1年ASクラス・アカデミークラス  
スキー研修旅行 白馬コルチナススキー場  
20日 2年生ASクラス・アカデミークラス  
スキー研修旅行 タングラムスキー場  
3月 1日 第36回卒業証書授与式

③メディカルスポーツクラス集中講座

6月23日 「栄養学」第一回目（1年）  
7月14日 「栄養学」第二回目（1年）  
9月29日 「栄養学」第三回目（1年）  
10月27日 「栄養学」第四回目（1年）  
2月19日 「心理学」第一回目（2年）  
2月20日 「心理学」第二回目（2年）  
2月21日 「心理学」第三回目（2年）  
2月22日 「心理学」第四回目（2年）

④進路指導関係

5月22．23．25．26．29日  
3年生 保護者対象 進路説明会  
6月14．21日 1年生 進路学習会  
6月21日 2年生 進路学習会  
7月14日 1年生 進路学習会  
9月19．20．21日 1年生 学部学科ガイダンス  
10月4日 2年生 進路学習会  
10月16．17．19．20日  
1年生 学級懇談会（文理選択について）  
10月16．17．19．20．26日  
2年生 保護者対象進路説明会  
1月19日 3年生 国公立大学出願検討会  
1月22日 3年生 国公立大学出願用三者面談  
3月7．8日 2年生 立命館大学高大連携説明会

⑤ 生活指導関係

令和5年度もいじめ防止対策、薬物の危険性を中心にした生活指導に関する教育と自転車の安全運転に関する教育を重視し、外部講師を招いて生徒を対象に「いじめの問題」「薬物の危険性」「ネット利用の危険性」についての講演を行った。

4月24日 1年生 「ネットの危険性」  
2年生 「危険薬物について」  
西京警察署スクールサポーター  
10月16日 1年生 「人権教育・いじめについて」  
佛教大学 原 清治 先生

⑥ 三者面談

担任による保護者と生徒を対象にした面談。特に一学期の学習状況等を総括し、希望進路や今後の学習計画等を相談。また保護者と担任との信頼関係の構築も目的の一つ。原則7月19日・20日・21日の三日間を実施日として三者面談を本校の各ホームルームで実施。

⑦ 進学講座

毎週、月・火・木・金の放課後に実施。原則1コマ45分を2講座。

⑧ 長期休暇中の教育活動

- ・ 春季休暇中・・・春期講習の実施
- ・ 夏季休暇中・・・夏期講習の実施
- ・ 冬期休暇中・・・冬期講習の実施

⑨ 教育の管理

- ・ 学校評価の実施

2) 健康・安全管理関係

① 学校衛生委員会の開催と充実

原則として毎月第四水曜日(16:45～)に、校長、副校長、教頭、衛生管理者、産業医、保健主事、養護教諭、教職員代表らによる、教職員の健康管理を目的とした「学校衛生委員会」を開催。以下は令和5年度に開催された衛生委員会での議題。

4月 令和5年度衛生委員会委員推薦等

5月 教職員健康診断に向けて

6月 教職員のクールビズについて

7月 飲酒と脱水について

8月 ストレスチェックの実施について、夏バテについて

9月 笑顔鬱について

10月 衛生委員会アンケートの結果について

11月 アルコール依存症「減酒外来」、産業医による健康相談実施について

12月 教職員定期健康診断の結果報告

1月 脳過労を防ぐデジタルデトックス術について

2月 職場の利用制限訴訟、働く世代からフレイル予防について

3月 令和5年度衛生委員会の年間まとめ

② 教職員健康診断

6月15日

教職員対象健康相談

12月6日

③ 生徒の健康・安全管理

4月17・24日 生徒検尿

21日 生徒健康診断

5月22日 交通安全教室(西京警察署による講演と実演)

6月19日 自転車点検(クラスごと)

9月 6. 13日 クラブ員検尿  
 11月17日 学校安全点検の日  
 1月17日 1・2年生 スキー研修前内科検診

④ 避難訓練

5月25日に実施。

3) 教員の研究・研修及び協議会・フォーラム関係

5月12日	生徒指導研究会・教職員研修	私学会館
25日	学校保健研究会	立命館高等学校
7月 4. 5日	救命救急講習会	本校
8日	保健体育研究会	京都橘高等学校
28日	生徒指導研究会	京都府警本部
31日	特例応急手当普及員講習	京都市消防学校
8月 2日	学校保健研究会（夏期研修）	京都精華学園中学高等学校
10月22日	私学研究大会	京都西山高等学校
11月9. 10日	全国私学教育研究大会	JRホテルクレメント高松

4) 部活動の主な戦績について

男子ラグビー部

第103回 全国高等学校ラグビーフットボール大会	出場
第25回 全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会	出場

女子ラグビー部

第6回 全国U18女子セブンズラグビーフットボール大会	準優勝
-----------------------------	-----

剣道部

令和5年度京都府高校総体剣道競技男子団体の部	優勝
------------------------	----

女子バレーボール部

令和5年度全日本バレーボール高等学校選手権大会京都府予選会	第3位
-------------------------------	-----

バドミントン部

第74回全国高等学校バドミントン選手権大会京都府予選	男子	第2位
	女子	第3位
2023年度京都府高等学校バドミントン新人大会	男子	第2位
	女子	第3位
	男子ダブルス	第2位

女子卓球部

京都府高等学校春季卓球選手権大会	女子学校対抗	第2位
	女子シングルス	第4位
全国高等学校卓球選手権大会		出場

女子ソフトテニス部

令和5年度京都府高等学校ソフトテニス選手権大会団体戦	第4位
----------------------------	-----

ゴルフ部

令和5年度京都府高等学校ゴルフ選手権春季大会

男子 優勝

(2) 入学志願者数、合格者数等の入学試験に関する状況について

令和6年度入試結果

(全日制課程)

	出願者数	T Sクラス 合格	A Sクラス 合格	アカデミー クラス合格	メディカルス ポーツクラス 合格	合格者計
専願・推薦	315	20	70	130	85	305
併願	417	95	132	164※	25	416
合計	732	115	202	294※	110	721

※T S・A S専願・A併願の合格者6名含む

(通信制課程)

2名受験 1名合格

(3) 卒業生数について(3月1日卒業証書授与式を挙る)

令和5年度 全日制課程卒業生 238名

通信制課程卒業生 13名

(4) 令和5年度卒業生進学状況

全日制課程 卒業生 238名

- ・四年制大学 201名
- ・短期大学 1名
- ・専門学校 21名
- ・進学準備 13名
- ・就職 1名
- ・その他 1名

通信制課程 卒業生 13名

- ・四年制大学 8名
- ・専門学校 2名
- ・進学準備 3名

### Ⅲ 財務の概要について

学校法人明德学園の令和5年度決算は、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4条に従って計算書類を作成し、公認会計士の外部監査及び学園監事による内部監査を受けた後、令和6年5月24日の理事会及び評議員会において審議、承認されたものである。

#### 1. 主な計算書類

##### (1) 収支計算書の状況

##### ア) 資金収支計算書

「資金収支計算書」は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の動きを明らかにするための計算書類である。

#### 資金収支計算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位 円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,993,467,000	2,028,626,000	△ 35,159,000
手数料収入	44,390,000	44,090,500	299,500
寄付金収入	4,797,000	4,797,094	△ 94
補助金収入	1,188,645,834	1,188,645,834	0
資産売却収入	32,146,000	32,146,905	△ 905
付随事業・収益事業収入	16,946,000	15,436,125	1,509,875
受取利息・配当金収入	110,090,000	125,991,508	△ 15,901,508
雑収入	167,902,000	166,702,750	1,199,250
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	413,654,000	411,428,380	2,225,620
その他の収入	1,251,796,210	1,381,503,067	△ 129,706,857
資金収入調整勘定	△ 723,690,752	△ 724,036,889	346,137
前年度繰越支払資金	3,408,284,576	3,408,284,576	
収入の部合計	7,908,427,868	8,083,615,850	△ 175,187,982

支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,945,189,000	1,941,961,670	3,227,330
教育研究経費支出	987,484,000	920,697,483	66,786,517
管理経費支出	158,526,000	149,773,220	8,752,780
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	80,959,000	80,521,249	437,751
設備関係支出	20,713,000	19,773,400	939,600
資産運用支出	434,445,000	296,629,050	137,815,950
その他の支出	1,303,481,986	1,327,562,247	△ 24,080,261
〔予備費〕	( 0 )		
	10,000,000		10,000,000
資金支出調整勘定	△ 285,068,867	△ 276,477,344	△ 8,591,523
翌年度繰越支払資金	3,252,698,749	3,623,174,875	△ 370,476,126
支出の部合計	7,908,427,868	8,083,615,850	△ 175,187,982

イ) 活動区分資金収支計算書

「活動区分資金収支計算書」は、資金収支計算書の決算額を3つの活動区分に分けて、活動区分ごとに資金の流れを明らかにするための計算書類である。

活動区分資金収支計算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

		(単位 円)	
		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,028,626,000
		手数料収入	44,090,500
		一般寄付金収入	134,068
		特別寄付金収入	1,563,026
		経常費等補助金収入	1,186,574,834
		付随事業収入	15,436,125
		雑収入	166,702,750
	教育活動資金収入計		3,443,127,303
	支出	人件費支出	1,941,961,670
		教育研究経費支出	920,697,483
		管理経費支出	149,773,220
教育活動資金支出計		3,012,432,373	
差引		430,694,930	
調整勘定等		△ 68,863,506	
教育活動資金収支差額		361,831,424	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	施設設備寄付金収入	3,100,000
		施設設備補助金収入	2,071,000
		施設整備等活動資金収入計	5,171,000
	支出	施設関係支出	80,521,249
		設備関係支出	19,773,400
		減価償却引当特定資産繰入支出	200,000,000
		成章施設整備引当特定資産繰入支出	3,100,000
		施設整備等活動資金支出計	303,394,649
	差引		△ 298,223,649
	調整勘定等		20,073,440
施設整備等活動資金収支差額		△ 278,150,209	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		83,681,215	
その他の活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	有価証券売却収入	32,146,905
		退職給与引当特定資産取崩収入	62,013,780
		預り金受入収入	1,129,705,077
		小計	1,223,865,762
		受取利息・配当金収入	125,991,508
		その他の活動資金収入計	1,349,857,270
	支出	有価証券購入支出	62,187,325
		退職給与引当特定資産繰入支出	30,341,725
		経短後援奨学引当特定資産繰入支出	1,000,000
		預り金支払支出	1,125,119,136
小計		1,218,648,186	
その他の活動資金支出計		1,218,648,186	
差引		131,209,084	
調整勘定等		0	
その他の活動資金収支差額		131,209,084	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		214,890,299	
前年度繰越支払資金		3,408,284,576	
翌年度繰越支払資金		3,623,174,875	

ウ) 事業活動収支計算書

「事業活動収支計算書」は、当該会計年度の収支の状況を明らかにし経営成績を表すものである。

事業活動収支計算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位 円)

		科目	予算	決算	差異	
教育活動収支	収入業の活動	学生生徒等納付金	1,993,467,000	2,028,626,000	△ 35,159,000	
		手数料	44,390,000	44,090,500	299,500	
		寄付金	7,164,000	7,164,094	△ 94	
		経常費等補助金	1,186,574,834	1,186,574,834	0	
		付随事業収入	16,946,000	15,436,125	1,509,875	
		雑収入	169,125,000	167,926,650	1,198,350	
		教育活動収入計	3,417,666,834	3,449,818,203	△ 32,151,369	
	支事業の活動	科目	予算	決算	差異	
		人件費	1,914,745,000	1,911,513,515	3,231,485	
		教育研究経費	1,238,315,389	1,171,995,317	66,320,072	
		管理経費	177,350,000	168,027,479	9,322,521	
		徴収不能額等	0	0	0	
教育活動支出計	3,330,410,389	3,251,536,311	78,874,078			
		教育活動収支差額	87,256,445	198,281,892	△ 111,025,447	
教育活動外収支	収入業の活動	科目	予算	決算	差異	
		受取利息・配当金	110,090,000	125,991,508	△ 15,901,508	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計	110,090,000	125,991,508	△ 15,901,508	
	支事業の活動	科目	予算	決算	差異	
		借入金等利息	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	0	0	0	
			教育活動外収支差額	110,090,000	125,991,508	△ 15,901,508
			経常収支差額	197,346,445	324,273,400	△ 126,926,955
特別収支	収入業の活動	科目	予算	決算	差異	
		資産売却差額	10,000,000	3,856,780	6,143,220	
		その他の特別収入	11,825,000	12,262,343	△ 437,343	
			特別収入計	21,825,000	16,119,123	5,705,877
	支事業の活動	科目	予算	決算	差異	
		資産処分差額	4,041,000	4,033,951	7,049	
		その他の特別支出	0	0	0	
			特別支出計	4,041,000	4,033,951	7,049
		特別収支差額	17,784,000	12,085,172	5,698,828	
〔予備費〕		( 2,247,389 )				
		7,752,611			7,752,611	
		基本金組入前当年度収支差額	207,377,834	336,358,572	△ 128,980,738	
		基本金組入額合計	△ 80,534,000	△ 80,864,540	330,540	
		当年度収支差額	126,843,834	255,494,032	△ 128,650,198	
		前年度繰越収支差額	843,605,613	843,605,613	0	
		基本金取崩額	332,000	331,969	31	
		翌年度繰越収支差額	970,781,447	1,099,431,614	△ 128,650,167	
(参考)						
		事業活動収入計	3,549,581,834	3,591,928,834	△ 42,347,000	
		事業活動支出計	3,342,204,000	3,255,570,262	86,633,738	

【資金収支計算書の主な科目の内容】

□収入の部

科目	備考
学生生徒等納付金収入	授業料、入学金、学園充実費、教育充実費、施設維持費、実験実習費等のことで収入の大半を占める。
手数料収入	手数料の中心は入学検定料、その他各種証明書の発行手数料などである。
寄付金収入	用途指定のある特別寄付金と用途指定のない一般寄付金がある。
補助金収入	国庫補助金や京都府私学運営費補助金が中心で、学生生徒等納付金に次ぐ収入源である。
資産売却収入	有価証券等の売却による収入である。
付随事業・収益事業収入	生徒寮等の教育活動に付随する活動に係る事業の収入である。
受取利息・配当金収入	学園が保有する預金や有価証券等金融資産の受取利息が中心である。
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入であるが、資金の収納が当年度に行われず、前年度又は翌年度に行われる収入項目に対応する勘定である。

□支出の部

科目	備考
人件費支出	教職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費等である。
教育研究経費支出	奨学費、光熱水費、消耗品費、修繕費、旅費交通費、賃借料、印刷製本費、通信費等がある。
管理経費支出	学生生徒募集の広報費や学生生徒の寮関連経費、教職員の福利厚生費、法人業務に関する経費等がある。
施設関係支出	建物や構築物に支出した勘定である。
設備関係支出	教育研究用機器備品や管理用機器備品に支出した勘定である。
資産運用支出	将来の固定資産準備金、有価証券の購入や特定事業目的への繰入額となる「引当特定資産への繰入支出」が中心である。
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対応する支出であるが、資金の支出が当年度に行われず、前年度又は翌年度に行われる支出項目に対応する勘定である。

【事業活動収支計算書の主な科目の内容】

□事業活動収入の部

科目	備考
寄付金	資金収支の寄付金収入から施設設備に係る寄付金を除いた額である。
経常費等補助金	施設設備補助金以外の補助金である。

資産売却差額	資産売却収入が帳簿価額を超える場合の超過額である。
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、現物寄付、施設設備補助金などによる収入である。

□事業活動支出の部

科目	備考
教育研究経費	資金収支の教育研究経費支出に減価償却額を加えた額である。
管理経費	資金収支の管理経費支出に減価償却額を加えた額である。
資産処分差額	資産を除却した際の除却額等である。

□基本金組入額

科目	備考
基本金組入額合計	第1号から第4号までの基本金の組入額の合計である。

(2) 貸借対照表の状況

「貸借対照表」は、期末における資産、負債、自己資金の状況を明らかにし、財政状態を表すものである。

貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	16,811,236,933	16,799,042,040	12,194,893
有形固定資産	9,734,509,589	9,894,742,641	△ 160,233,052
特定資産	7,073,739,840	6,901,311,895	172,427,945
その他の固定資産	2,987,504	2,987,504	0
流動資産	4,662,196,883	4,397,864,199	264,332,684
資産の部合計	21,473,433,816	21,196,906,239	276,527,577
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	409,702,802	441,374,857	△ 31,672,055
流動負債	778,447,105	806,606,045	△ 28,158,940
負債の部合計	1,188,149,907	1,247,980,902	△ 59,830,995
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	19,185,852,295	19,105,319,724	80,532,571
第1号基本金	16,634,232,295	16,553,699,724	80,532,571
第2号基本金	1,000,000,000	1,000,000,000	0
第3号基本金	1,334,620,000	1,334,620,000	0
第4号基本金	217,000,000	217,000,000	0
繰越収支差額	1,099,431,614	843,605,613	255,826,001
純資産の部合計	20,285,283,909	19,948,925,337	336,358,572
負債及び純資産の部合計	21,473,433,816	21,196,906,239	276,527,577

## 2. 当該年度の決算の概要について

ここでは、決算後の本学園の財政状態を確認すべく、その見方の説明を加えながら貸借対照表をみていく。

### 資産の部

財産の運用状況、つまり使い道のことであり、「固定資産」と「流動資産」に分かれる。校舎、グラウンド、体育館、情報機器、視聴覚機器、図書、マイクロバス等、明德学園の各学校が教育研究活動を進めていくために必要な施設・設備を「固定資産」と呼び、約168億円ある。また、経営に必要な資金として、現金預金、有価証券、未収入金等があり、これらを「流動資産」と呼び、約47億円ある。これらの資産の合計額、約215億円が学園の財産となる。

### 負債の部

負債の部においても、資産の部と同じように「固定負債」と「流動負債」とに分かれ、退職金、預り金など将来支払わなければならないものがここに含まれる。

### 純資産の部

純資産の部は、「基本金」と「繰越収支差額」とに分かれる。

「基本金」とは、学校法人が諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、事業活動収入のうちから組み入れる金額のことである。「基本金」は第1号から第4号までに分かれており、第1号基本金は、資産の部にある有形固定資産を自己資金で取得した場合に組入れられるものである。第2号基本金は、施設計画等がある場合にその取得にむけて計画的に組入れるもので、第1号基本金とともにハード面を目的とした基本金となる。一方、第3号基本金は、学園創立記念奨学基金や教育振興基金など学生生徒や教職員を支援していくために組入れられるソフト面の要素をもつ基本金であり、明德学園ではこの第3号基本金の充実を目指している。第4号基本金は、学校法人の運転資金の額とされている。

「繰越収支差額」とは、事業活動収支計算書の当年度収支差額の累積額である。

この純資産の部は、企業会計で言う資本の部に当たり、正味財産とも言える。本年度末時点において、正味財産が約203億円ある。

## 3. 主な施設設備の整備状況について

京都経済短期大学と京都明德高等学校におけるトイレ改修工事、京都成章高等学校における空調機器の更新などを実施し、学生生徒の学習環境の整備を進めている。

4. 財産目録

財産目録

(令和6年3月31日現在)

I 資産額	21,473,433,816 円
内 (1) 基本財産	9,736,827,093 円
(2) 運用財産	11,736,606,723 円
II 負債額	1,188,149,907 円
III 正味財産	20,285,283,909 円

科 目	年 度 末
I 資 産 額	
(1) 基 本 財 産	9,736,827,093 円
1 土 地	69,095.00 m <sup>2</sup> 5,802,002,134 円
2 建 物	33,463.33 m <sup>2</sup> 3,440,170,761 円
3 構 築 物	143,406,306 円
4 図 書	75,587 冊 188,763,896 円
5 備 品	20,551 点 152,552,558 円
6 そ の 他	9,931,438 円
(2) 運 用 財 産	11,736,606,723 円
1 現 金 預 金	3,623,174,875 円
2 そ の 他	8,113,431,848 円
合 計	21,473,433,816 円
II 負 債 額	
1 固 定 負 債	409,702,802 円
(1) 退 職 給 与 引 当 金	409,702,802 円
2 流 動 負 債	778,447,105 円
(1) 前 受 金	411,428,380 円
(2) そ の 他	367,018,725 円
合 計	1,188,149,907 円
III 正 味 財 産 ( I - II )	20,285,283,909 円

5. 主な財務比率について

比率	算式	指標 (※1)	全国平均 (※2)	令和5年度
<b>貸借対照表</b>				
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	▼	85.3%	78.3%
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	△	14.7%	21.7%
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	▼	5.7%	1.9%
流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	▼	4.8%	3.6%
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	△	89.6%	94.5%
繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債+純資産}}$	△	-22.5%	5.1%
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	▼	95.2%	82.9%
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$	▼	89.6%	81.2%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△	308.7%	598.9%
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	▼	10.4%	5.5%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	▼	11.6%	5.9%
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	△	524.1%	880.6%
退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	△	57.8%	100.0%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△	97.5%	100.0%
減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$	～	57.4%	64.8%
<b>事業活動収支計算書</b>				
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	▼	60.1%	53.5%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	▼	105.5%	94.2%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	△	31.4%	32.8%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	▼	11.4%	4.7%
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	▼	0.2%	0.0%
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△	-2.0%	9.4%
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入-基本金組入額}}$	▼	112.7%	92.7%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	～	57.0%	56.7%
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金(※3)}}{\text{事業活動収入}}$	△	1.6%	0.5%
補助金比率	$\frac{\text{補助金(※4)}}{\text{事業活動収入}}$	△	30.4%	33.1%
基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	△	9.5%	2.3%
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	～	11.4%	8.1%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△	-3.2%	9.1%
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	△	-6.4%	5.7%
<b>活動区分資金収支計算書</b>				
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	△	5.2%	10.5%

※1 指標は「△：高い値がよい」・「▼：低い値がよい」・「～：どちらともいえない」を示す

※2 日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」令和4年度 短大法人の部より記載

※3 寄付金＝教育活動収支の寄付金＋特別収支の施設設備寄付金及び現物寄付

※4 補助金＝経常費等補助金＋施設設備補助金